



かりん Vol. 1

昭和59年10月
東京工芸大学女子短期大学部
華輪会

名前のおはなし

それはひとつの偶然からはじまった。
海の香りがするサテンでタバコをくゆらせながら、誰かがティー
スプーンをそっとカップの中に落とした。

” カリン・・・・・・・・ ”

その透き通る響きに、皆が耳を傾け、
「今の・・・」。
そう、これはウソのような本当の話。
私たちは、いつまでもかわいらしい女性でいたい。



同窓会誌第一号によせて

学長：菊池真一

東京工芸大学女子短期大学部の第一期生で大学に残っている千沢さんから同窓会誌の第一号が出来るから何か書いてくれとお頼みがあったので喜んで筆をとっている。

皆さんが女子短期大学部秘書科の第一期生として卒業し、それぞれの仕事についてから早くも六ヶ月以上たった。大方の人は張切って働いていることでしょうか、その間に大学の二年間の生活を懐しく思っていることでしょうか。なかには仕事に疑問をもって悩んでいる人もあるかも知れない。そのような人は一層大学時代を思い出していることでしょうか。



大学は学生時代の最後のしめくりで、又、皆さんが人生で一番貴重な青春を送った所ですから将来ともにその思い出は大切にしてください。そして同窓会はその中心になります。同窓会は各クラスと女子短期大学部の各年次を貫く全体の同窓会があります。また、東京工芸大学全体の女子短期大学部支部でもあります。

年を経るに従って同窓会の会合で旧友相逢って話し合うことは楽しいものです。しかし、皆様はこれから仕事に忙しいし、また間もなく結婚、育児に手をとられてそれどころではないという一時期が来るでしょう。その時も連絡を欠かさず、完全な名簿が出来ていることを望みます。名簿こそは皆様をつなぐ命綱です。

人生においては得意の時と失意の時があります。得意な時はその喜びを分かち合い、失意の時は一層同窓会に心のより所を求めて下さい。そして何人かの熱心なボランティアが各クラスの同窓会を引っぱる牽引車です。

私は東京工芸大学合体の一部であるといいましたが、工芸大学は全国に支部があります。女子短期大学の卒業生はいまは、神奈川、東京に住んでいます。結婚すると地方に行くことになるかも知れません。その時は工芸大学の地方支部に属して下さい。必ずや強力な支援が得られるでしょう。

近年における、学生の多種、多様なプレイスポットには目を見はるものがあります。テレビ、ラジオ、雑誌、こういった媒体には平然と主役を務めている。最近では、いろいろな能力を持った学生が集まり、その人材を必要とする所へ派遣され自分の能力を発揮するという”人材バンク”なるものが登場し、まさに引く手あまたとか。そんな中で、やはり元来のカラを打ち破り、社会の逆流となって波乱をまき起こし、今では誰もがのまれてしまう主流となってしまったのが、「女子大生」なのである。そう、こわい者なし……とつけ加えます。こう言っても、昔と変わらぬ、俗に言う「まじめ」な女子大生も少なくない。そういった激増する学生たちが自分たちの学生生活をどう過すか、何を得るか、には方向性がない。無限大の可能性をひめた学生たちが、それを自覚し、自分でハンドルを握る事ができるのである。そして最後の楽園である大学生活の中で何かを悟り、次の世界での活力とするのである。一つのストーリーが終わった時に、同じような体験をし、似かよった気持ちを持った私たちが待っている。同期同志、学生時代をなつかしみ、語り合うもよし、後輩に、一歩前を歩いている教訓を聞かせてもよし、相談にのってもよし、そんな暖かい同窓会にしたい。



全員で集まれなくとも、所々で、東京工芸大学女子短期大学部卒業生が再会を楽しんでいればいい。学生たちは、どんどんその世界を新しいものにぬりかえている。私たち同窓会も、元来の形だけ、名前だけの影のない団体は造りたくない。

そう言った考えの中で、この第一回同窓会会報を作り上げ、皆の手に届くのを楽しみにしている。

決して捨てられない、愛読書として、仲間たちに贈ります。”

素顔のままでもいい = 卒業生アンケート

卒業生へのアンケート

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 今、どんなことをしていますか。 | 7 休日はどのように過ごしていますか。 |
| 2 今やっていること（仕事、職場）は自分に
あっていると思いますか。 | 8 今後、ぜひこれをやりたいと思うこと
はありますか。 |
| 3 初任給は何に使いましたか。 | 9 学生時代の友達と会っていますか。 |
| 4 職場の上司や同僚はどうですか。 | 10 卒業して自分に何か変化はありましたか。 |
| 5 職場結婚は可能ですか。 | 11 短大時代をふりかえってみての感想をかき
せて下さい。 |
| 6 仕事以外に何かやっていることはありますか。 | |

A ハロー 元気？

E まあ、皆、化粧がうまくなって！

C ところで、アンケート集まった？

A うん 170通出したうち、37通しかもどってこなかったけど。おもしろい意見、体験があったわよ。（皆、アンケートに目を通す）

D それぞれの道を歩き出したって感じだね。

B うん、悲惨な子もいれば、楽しくやっている子も・・・いろいろいるわね。

などと、私達、”キャピキャピ五人組はアンケートに関して、感じたことを、思うままに、三時間、ぶっつづけに、しゃべりまくったのです。

E 初めてもらった給料、何に使った？

B 親にプレゼントするとか、いつものパターンで、服代、飲食代が多かったみたい。

A うん。十万そこそこのお金が、いっぺんに、入ってきた時は、感激だったよね。だけど、その反面、むやみに使えない……って感じてきたよね。

E でも……日がたつにつれて、金額に不満がつるのはよねー！

A そう！ アンケートの結果でも、給料に不満をもっている子が、半分以上だった

D だいたい一般事務だけど、仕事の内容に、給料が対応していないと考える子が多いわよ。

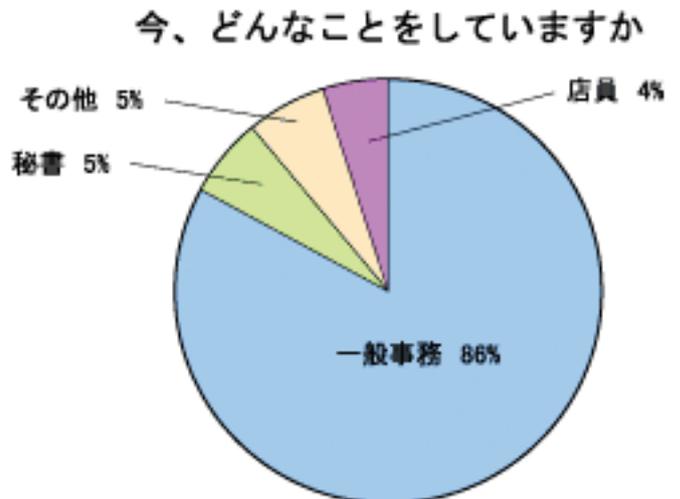
C そう……仕事がハードで、安いとか、仕事をこれしかやっていないのに、こんなにもらっていいのか……という意見があるものね。

B アッ！ あと、給料から、組合費とか、保険、税金がひかれるの……ゆるせないと思わない？

C そうそう。自分と関係ないZ（？）ところか稼いだ金もっていかれてしまう……っていう気分なのよね

D 勝手ないい分だね。

（全員笑い）



今はまだいい子ぶってられるけど

A 職場関係は、どうかネ。

B わりと”先輩から、いじめられる”とか”ひどい上司がいる”とか、ひどいことはかり聞いていたけれど、そうでもないと思わない?”上司が父親のようだ”とか”とてもやさしく且つ厳しく接してくれる”とか、”和気アイアイ”なんて書いてあるヨ。

C ちょっと…でも、”はっきり言って、あのチマチマした根性の課長が、だいきらいと用紙になぐり書きしている子とか、”どーしても好きになれません”なんて子もいる。

E そう、まだ一年目で、チャホヤされているから、実体はわからないヨネ。

D うん。今はまだ、いい子ぶってられるけど……。

B だめヨ! 自分をいい子ぶった子にしてしまうと、その枠で見られてしまって後々、たえられなくなるわヨ。

(全員……「言えてる!!」)

E 「私は秘書科を出た」ということで、期待されて、肩ひじ張ってしまって、失敗した子もいるみたい。

A “秘書科を出た”ってことを、重荷にするか、自信にするかは、自分の考え方次第じゃないかな?

B そう…仕事っていうのは、やっぱりキャリアをつまみ年をかさねて出てくる自信が大切なんだよネ。今の私達は、知らない事が多すぎるでしょ。それを、これから努力して知って、本当のキャリアを自分自身で、使っていかなければならないんじゃない? 初めから、全部わかるう……なんて、無理なんだ!

C そう! 「わからない事を聞くのは、恥かしくない」「質問できるのは、今のうち」なんだもん!

D そうよね、それで余裕が出てきたら、学校で学んだことを、自分なりに取り入れて、工夫し、いかしていけばいいんじゃない?

B うん、二十二、二十三、二十四になって仕事が出来ないとか、気がきかない……なんてないようにネ。

A ソウ……「二十才をすぎたら、二十一」だヨ。

E 関係ないんじゃない?

(ハッハハハハ…)

結婚する前にできること、思いきりやらなきや。

C ところで、私達のまわりでも、ほんの少しだけど、結婚した人っていない。一同いるいる。

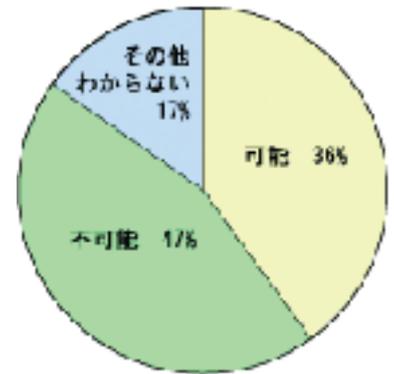
A アンケートの「職場結婚は可能ですか」に対する回答は、半々だったヨ。

B でも社内恋愛って、ちょっと雉しいってよく言われたい?

D うーん、うわさがひどいんだって!

C 会社の雰囲気によって分かれるのヨ。「あの子とあの子が、あやしい…会社になにしに來てるの」「あの子とあの子、つき合っているんだってネ、いいネーキヤーキヤー」の二タイプに

職場結婚は可能ですか



- B そう、だから、みなさん早く会社の雰囲気キャッチして、身の振り方を考えましょう！
- A だけど、結婚だけが、人生じゃないわヨ。結婚する前に、いろいろとできることを思いっきりやらなきゃあ。
- D アンケートで、これから、何をしたいかにたいして、スポーツが圧倒的に多くて他に英会話とか…………。
- E “トラバりたい！ って子もいるヨ。
- A アーツ、私もトラバりたいヨー！
- B 入社して、六ヶ月ともなると、なにかと不満を感じてくるのよネ。まだ 一般事務もちゃんと出来ないけど、仕事のサイクルがわかってくると、それ以上のものを、望みたくなるのヨ。“生きがいをもって、仕事をしたい”って。
- C そう！欲張りだとか、まだわからないくせに…………なんて言われそうだけど、生きがいをもって仕事をするっていう気持ち、忘れたくないわね。
- D うん、だから”トラバりたい”でも、旅行したい”でも、どんなことでもその人なりの生きがいがあれば、最高じゃない。
- E うん、生きがいがないと、人間的な、豊かさや、うるおいも消えてきちゃうような気がするのよネ。
- A さあ、みんな、生きがいをさがそう。
- E こうやって話していると、みんな卒業してもあまり…というか全然変わってないみたいね工。一同・ハッハハハハ…………
- D でも、人間そんなに変わるもんじゃないよ。
- E アンケートでも、大半が「変化してない」ってことだけど…………。
- B でも“ものの見方が変わった”とか“ちょっとだけだけど責任感が備わった”とか“暗くなった”というより“落ちついたのかな”とかあったよ。
- D 他には“時間を有効に使うようになった”っていうのもあるわよ。
- C そうだね。学生の時は時計なしで、自分の頭だけで時間を考えていたけど、このごろは次の日のことを考えるものね。
- A 自分の体調を整えるようになったのよね。
- B こんなのもあるよ。“人の顔色をうかがって、それに伴った行動をするようになった”だって。
- D ちょっとイヤな気するわね。
- C うーん、まさしく、大人になったという感じ。
- E でもさ、いつも人の顔色ばかりうかがって、自分を見失ってしまう…なんてことないようにしたいね。
- A うん、妥協したくないよ。
(一同沈黙)

友達に恵まれた

C ふりかえってみると、学生時代って人生の中で最高にいい時だったって感じない？

D そう！アンケートの最後の質問のところにみんなこう書いてるよ。

A そうね。ちょっとあげてみよ - か。

「短大時代が心の支え。何かあった時に思い出すのは友達のこと...学生時代のこと」

「もっと勉強すれば良かった」

「よい友にめぐまれた」

「充実しきれなかったので残念！」

E こんなのもあるよ

「とにかく、試験の時思いきりカンニングしたこと、と、講義中寝れたことが社会人になってからでは味わえないダイゴ味でした」 だってさ。

C ハッハハハ……いえてる～。

A あと...「学生間ではいい出会いをしたけど人間的に尊敬できる人と出逢えなかったのが残念でした。なんてのもある。実は私よ！

B シビアですねー。

C まだ私達、二十代の前半なんだもん。これからまだまだいろいろな人と出逢って、いろいろな経験して……。いい女、いい人間になろうよ。

一同 決まったねーっ。

まだまだ話はずきないのですが、明日は会社もあるし、日も暮れたし、これからデートの人もいるから……というわけで、それぞれ家路につくのでした。今日の会話ひとことを心に効みながら……。

TOP会談 「はじめまして・・・華輪会でっす」

私、恐れ多くも我女子短大同窓会、華輪会の会長を務めて居ります。先日、私は同窓会結成と会報の件で、初めて工学部の同窓会長 新さんにお電話したのです。同じ同窓会長と言っても、規模が違います。資本に差があります。そして何よりキャリアがあります。そういった事でこれから先、教えて頂く事が多いと思います。いつもは積極的な私も、久しぶりに”ドキドキ”と快い緊張を感じながらのほんの十分間でした。……まあ聞いて下さい。

Q 「私、東京工芸女子短大卒業生の岡村と申します」

A 「はい。こんにちは。」……この落ちつき。

Q 「あっはい。突然お電話差し上げまして済みません。この度、私たち第一期生が卒業致しまして、四月に同窓会を正式に結成致しましたので、そのごあいさつのお電話なのですが」……よく言えましたって感じ。

A 「はい、わざわざご丁寧に済みません。これから大変ですね」

Q 「はい、わからない事ばかり困ってます。」……笑い……

Q 「さしあたりまして年間行事を出しまして、それから第一回同窓会総会の日取りや内容を決めたのですね。そしてまず同窓会会報を発行しようと考えてます」

A 「はい。そうですね。うちの同窓会も年一回の会報は欠かさず出してます。」

Q 「あの、組織の事でお伺いしたのですが、会報を作成するスタッフはいらっしゃいますか」

A 「はい。うちの方では同窓会報は五～六人の広報部員に任せてます。」

Q 「あ、その方が確実ですし、組織自体も動きやすいですネ。(よし、取り入れよお～と。) それから、役員間のご連絡はどのように取られていますか。ご通知ですか、何か別に電話の連絡網を作られているとか…。

A 「いえ、やはり人数が多いので、何か連絡事項があれば学校のほうに卒業生がいますので、彼を通してほとんど通知でやってます。やはり誰かそういった人を一人決められるとやりやすいですよ」

Q 「はい。そうですね。そう致します。」

A 「岡村さんはどちらにお住まいですか。」

Q 「はい、私は厚木です。地元なんですよね」

A 「あ - それはいいですね」

Q 「え~~~~~」

……笑い……

A 「一度学園祭でお会いしましたよね。」

Q 「はい、あの時はゴタゴタしてまして申し分けありませんでした」

A 「いえいえ、私の妻の実家が厚木にあるもので、時々そちらへ行く事があるのですよ。今度皆さんでお茶でも飲みましょう。」

Q 「はい、是非、よろしく願います」……いきなり元気な声で、ガハハハ

と、このように会話をしました。とても親切な方で、私たち華論会の結成を喜んで下さいました。きっと、他の同窓会員の方々もそうだと思います。私たちは、それに恥じる事のないよう、独自の同窓会を確立していきたいと思います。これは会話には書きませんでした。新会長さんは中野短大の同窓会と、もっとつながりをもって三同窓会をよいものにしていきましょうとおっしゃっていました。

「賛成!!」……皆ながんばろうね。



—第三期生に聞く・・・

今回は準会員である一年生の塩田佐弓さんにさりげなくインタビューしてみました。

Q こんにちは、入学して半年になるけど、入学前、この学校に抱いていたイメージと現在とではどうですか？

A 固い感じの学校だと思ってたけど、そんなでもなかった。あと、もう少し専門学校的要素が強いのではないかと思っていたんですけど、タイプとかワープロとか週一の授業で、あんまり身につかないような気がします。そーゆーところは考えてたのとちょっと違っていました。

Q 学校生活面はどう？

A ゆったりしてて良いと思います。でも、バスが少ないですね。

Q 学生時代にぜひやりたいことはありますか？

A やっぱり、自分はこれができるんだと言えるくらいの資格なり技術を身につけたいです。それには、自分自身の努力がかなり必要ですね。関係ないけど、BFもほしい！

Q 今後、代表委員会でやっていきたいことありますか？

A 先輩達が作ってきた行事をきちんとかなすこと。六十一年度から定員増になるので、それまでに、みんなが活発に動けるような母体となる委員会にしていきたいと思います。

この学校自体、メジャーにしたいですね。むずかしーかなあ？

何か良い案があったら、先輩方、どんどん言いに来て下さい。

Q いろいろとありがとう。がんばって下さい。

昭和五十五年六月十三日 文部省より短期大学に「秘書科」の設置を認めるという発表がありました。本学では、かねてより学園全体の発展と地域社会の要請に応えるべく女子の実務教育を行う短大設置を検討していましたので 早速理事会の議決により女子短期大学部秘書科の設置申請を同年七月三十日に行い、審査を経て、昭和五十七年一月十六日付にて短期大学の秘書科として我が国で最初に設置が認可されました。

大学設置申請より認可までの二ケ年間、校舎建設、教員組織、図書、施設設備、その他予算関係等関係の人的、物的の確保と整備に忙殺、この間法人本部の関係者はもとより、工学部の先生方に、また資金面では工学部同窓会、三井銀行より多大なご援助を賜りましたことを誌上を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、認可直後より学生募集活動に入り、推薦入学を五十七年一月三十一日、第一次入試を二月二十日、第二次入試を三月十五日に実施し、一八七名の第一期生の入学式を四月六日に西村理事長、足立原厚木市長、刈田綾先生を迎えて挙行し、ここに東京工芸大学女子短期大学部（秘書科）が正式に発足いたしました。以来二年の歳月は矢の如く流れ、本年三月十五日第一期卒業生一八二名の卒業式を厚木市文化会館で挙行、同窓会も正式に発足し、ここに第一回同窓会報発行に寄稿出来ますことは私の最も喜びとするところであります。これより想いつくまま過ぎ去った二ケ年余の出来ごとと、本学の当面の計画について述べさせていただきます。

第一期生を迎えると早速永田先生難波課長の指導で学友会が発足、岡村江美子さんが会長になられ、大いに指導力を発揮されました。部活動も活発となり、箱根でのオリエンテーションにより学生同志の親睦も増し、前期試験が終ると直ちに学園祭 - いいましても一年生のみですからすべて零からの出発。山川郁子さんはじめ学園実行委員の方々がパイオニア精神を大いに発揮されて「エリアント祭」という名秩からテーマは「いま同じ時代のあなたに」。主なイベントは川崎麻世（本学短期大学部二年生）を迎えてのコンサートそして伝統行事とする餅つき大会、ポスター作成から正門アーチの制作等々、教職員の支援で成功裡に終わりました。

この頃にはすっかり短大らしくなり、学風も出来てきました。そして五十八年四月四日第二期生一八 名を迎え、学園も一層活況を帯びてきました。二期生のオリエンテーションが終る頃より一期生の就職指導が始まり、九月に入ると就職活動も活発となり水之江、大塚、永田先生はじめ教職員は、夜遅くまで指導や企業訪問に追われる毎日でした。その結果十一月一日までに、就職希望者の84%が内定、五十八年一月中旬に全員就職が決まりました。

その一方では第二回エリアント祭が田坂由紀子学園祭実行委員長はじめ委員の方々の努力と指導のもとに「愛あい EYE がいっぱい」のテーマで、好天に恵まれ大成裡に終わりました。そして四月四日、七五〇名より選ばれた一八四名の第三期生を迎え、五月二十二日にはスポーツフェスティバルが学友会主催で行われました。これも今後恒例として全学参加の行事にしてゆく予定です。二ケ年の学園生活は矢の如くすぎてゆきますがそれだけに充実した思い出多い学園生活にすることに学生と教職員お互いに努めてまいりました。

第一期生の卒業アルバムを拝見いたしますと入学より卒業までの楽しかったこと、苦しかったこと、それぞれの思い出が走馬灯のように思い出されます。

次に学園が現在実施又は実施しようとしている計画についての概要をご説明申し上げます同窓生のご理解とご協力をお願いする次第です。

一、創立六 周年記念図書館建設について

鉄筋コンクリート造 三階建、二、二二八m²が七月末に完成、十月九日落成式が行われました。この中には女子短期大学生専用の閲覧室も含まれており、資金については後期要項の通り六十年八月まで同窓生の寄付募集を行ってしますので何卒一口で結構ですからご支援下さい。

二、第二校舎建設について

昭和六十一年度より入学定員を増員すると共に、ワードプロセッサ ハーソナルコンピューターの教育を充実するため現在の校舎の裏に鉄筋コンクリート四階建の第二校舎を本年八月着工、六十年五月完成予定で建築します。これが完成しますと従来工学部の大教室で行った授業が学内で出来るようになりますと共に入学式、卒業式、エリアント祭等に使用出来、また、かねてからの要望のピアノも一台置けるようになります。この資金についても同窓会のご支援を賜りたいと存じます。

三、学友会部室の建設について

かねてから要望の強かった学友会部室も、後援会のご支援により本年十一月末頃までにテニスコートと食堂の間に建設の予定です。経量鉄骨造二階捷二八三m²で約一四m²の部室 七室、学友会本部三九m²と備品を納める倉庫二室、音楽関係部室等が含まれます。

私達は、東京工芸大学女子短期大学部の三年生です・・・

同窓会とはこうあるべきもの...という本来のワクを取りはずして、名前だけではない、皆が自然に参加てくるような会を作っていきたいと思っています。その拠点となるのがこの会報です。

これからいろいろな人生を歩いていこう私達、どんなことがあってももどってこれる、いちばん自然な自分を出せる、そんな同窓会にしたいのです。皆と話していれば、心がなごむ、暖かくなれる...そんな時をこの同窓会で過ごせれば最高です。

私達はそんな場を望んでいます。工芸大女子短大の四 年生、五〇年生となっても……………。

ち・か・い・の・じ・と・ば

一、私達は、東京工芸女子短大の卒業生であることを誇りに思い実社会に於いても、その名をけがすことのないよう心がけよう。

二、私達は、短大において学んできたことを生かし、常に自分を向上させていく気持ちを持ち続けよう。

三、いつまでも“本音”で生きよう。若い頃の純粋な気持ちを失うことなく……………。

四、私達は、実社会において、すばらしい男性を獲得し、子孫繁栄に努めることを誓います。

Salon de Karin

- * ある土曜の午後、思いがけない怒りのため灰の山がいくつもできたのにはタマゲタ。
- * 女子短生活から開放されて、なおかつ欲求不満の方へひとこと・・・「金をためるしかない」貯蓄相談は私まで・・・
(大和証券勤務 岡村江美子)
- * 近頃、愛人バンク・裏ビデオ・etc・・・とマスコミを騒がせている女子大生ですが「おとうさん」あなたの娘は大丈夫です。
やっほー！ 一期生や 元気かい？
たまにはお茶でも飲もうよ。

年間行事

昭和59年4月	同窓会発足
6月	第1回常任委員会会合
7月	第2回 " "
	会名称決定「華輪会」
8月	第1回会報編集会議
9月	第2回 " "
10月	会報、名簿発行
11月18日	第1回総会
12月	第3回常任委員会会合
昭和60年2月	第4回 " "

華輪会OFFICER

名誉会長	菊池 真一 学長		高瀬 和子 (カコ)
会長	岡村 江美子 (ビート)		神谷 三和 (ミワ)
副会長	小日向 葉子 (コヒ)		田坂 由紀子 (タッコ)
書記	小山 恵子 (ミー)		野崎 相模 (ガミちゃん)
会計	松尾 有希子 (マツチ)		河原 孝子 (ターコ)
会計	監査千澤 節子 (セツちゃん)	顧問	永田 照子先生 (お母さん)
常任委員	中島 優子 (ユーコちゃん)		三井 加寿枝 (ママさん)

・・・と呼んでください。

おしまいにひとこと

今、このページを閉じ、心地よい疲れを感じながら、この会報が早くみなさんの手に届き、少しでもみなさんの心をなごませることを願っております。

今回はこの会報を発行するにあたり、卒業生全員にアンケート調査を行いました。回収枚数が少なかったのは残念でしたが、ほとんど真面目に、また、率直な回答をしていただけたこと、とても嬉しく思いました。もっともっとたくさんの意見を載せたかったのですが、ページ数の関係上、割愛させていただきました。ご協力ありがとうございました！

「かりん」は即ゴミ箱行きにならないように、とにかく楽しいものにしようということで、このようになりました。スタッフの自己満足という感じもなきにしもあらずですが、それぞれの仕事のあい間をぬっての制作でしたので、まあこれで精一杯というところです。

次号は会員数も増えますので、他力本願でがんばってみたいと思っています。ヨロシク！
最後に、「かりん」制作中に聴いた歌から……………

きみの友達でいたい 一番近くで笑う きみの友達でいたい 遠くで
泣いてあげられる

華輪会 現在182名